

北海道いじめの防止等に向けた取組プランにおける目標指標 (平成30年度から令和4年度)

1 いじめの認知

【目標指標】

- ・「本校は、いじめの認知に向けて積極的に取り組んでいる」という設問に対し、児童生徒や保護者、地域住民が「とてもそう思う」又は「そう思う」と回答する割合…100%

○いじめを認知していない学校の割合

| | H29年度 | R元年度 |
|-----|-------|-------|
| 北海道 | 46.8% | 36.0% |
| 全 国 | 24.5% | 16.3% |

※児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査より

2 いじめの未然防止

【目標指標】

- ・児童生徒の人間関係やコミュニケーション能力、学校生活の適応感などを把握するための調査を実施している学校の割合…100%
- ・「いじめはどんな理由があっても許されないと思う」という設問に対し、「当てはまる」と回答する生徒の割合…100%

3 いじめの早期発見

【目標指標】

- ・SCやSSWの役割等やいじめに関する相談窓口に関する周知等を行った市町村の割合…100%
- ・いじめの解消につながった事例をまとめた啓発資料の活用の割合…100%

○嫌な思いをした時に「誰にも相談しない」と回答した割合

| | 小学校 | | 中学校 | | 高校 | |
|-----|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| | H29年度 | R元年度 | H29年度 | R元年度 | H29年度 | R元年度 |
| 北海道 | 9.5% | 8.0% | 13.7% | 12.7% | 15.9% | 11.8% |
| 全 国 | 5.5% | 5.3% | 6.6% | 5.3% | 10.8% | 9.1% |

※北海道：道教委独自調査（平成30年6月及び令和2年6月）より（ただし、小学校は2～6年生対象）

※全 国：児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査より

4 いじめの対応

【目標指標】

- ・認知したいじめの事例に対し、組織的に対応した割合…100%
- ・SCなどの外部人材の具体的な活用が明記されている対応マニュアルの作成されている学校の割合…100%
- ・外部人材が参画したいじめに関する会議を年1回以上開催した学校の割合…100%

○いじめられた児童生徒が、スクールカウンセラー等に相談したと回答した割合

| | H29年度 | R元年度 |
|-----|-------|------|
| 北海道 | 1.2% | 1.1% |
| 全 国 | 2.0% | 1.9% |

※児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査より

5 いじめの重大事態への対応

【目標指標】

- ・市町村におけるいじめの重大事態の調査組織の設置割合…100%

○条例で「重大事態の調査」を行うための機関を設置している市町村教育委員会の割合

| | H29年度 | R元年度 |
|-----|-------|-------|
| 北海道 | 51.4% | 60.0% |
| 全 国 | 61.8% | 83.0% |

※児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査より

6 その他必要ないじめの防止等対策

【目標指標】

- ・令和2年度の市町における地方いじめ防止基本方針の策定率…100%